

## 岩手県金融経済概況（平成 28 年 6 月）

### 1. 概 況

県内経済は、生産面に新興国経済の減速に伴う影響などがみられるものの、基調的には緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。設備投資は、増加している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 28 年 6 月）は、衣料品、雑貨が不調であったことから、2 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△6.9%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 28 年 5 月）も 2 ヶ月振りに前年を下回った（前年比△1.2%）。

新車登録・届出台数（登録車＋軽；平成 28 年 6 月）は、軽自動車の不振を主因に 2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△9.2%）。

#### (2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 28 年 6 月）は 2 ヶ月振りに前年を上回った（前年比 +56.4%）。

新設住宅着工戸数（平成 28 年 5 月）は、3 ヶ月振りに前年を上回った（前年比 +7.6%）。

—— 貸家が 5 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△13.3%）ものの、主力の

持家が3ヵ月振りに前年を上回った(同+6.4%)ほか、分譲は2ヵ月連続で前年を上回った(同2.4倍)。

民間設備投資(短観ベース;平成28年度計画)は、全産業ベースで前年度を上回る計画となっている。

——平成27年度(実績)は、非製造業では前年度を上回ったものの、製造業の一部で需要悪化に伴う投資の先送りがみられたことから、全体では前年度を下回ることとなった(前年度比;製造業 $\Delta$ 7.2%・非製造業+3.3%・全産業 $\Delta$ 2.4%)。

——平成28年度(計画)については、幅広い業種で新規出店等の能増投資、更新投資などが計画されており、全産業ベースで前年度を上回る(前年度比+17.4%)計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計(平成28年5月)は、高水準ながら、7ヵ月連続で前年を下回った(前年比 $\Delta$ 9.8%)。

### 3. 生産動向

生産は、横這い圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数(季節調整値;平成28年5月)は、3ヵ月振りに前月を下回った(前月比 $\Delta$ 5.0%)。

——5月の動向を主要業種別にみると、化学、輸送機械、窯業・土石製品が低下し、生産用機械、パルプ・紙・紙製品、食料品が上昇した。

なお、四半期の動きをみると、27/4~6月(前期比 $\Delta$ 1.4%)、7~9月(同 $\Delta$ 1.0%)、10~12月(同 $\Delta$ 3.1%)、28/1~3月(同 $\Delta$ 0.2%)と4四半期連続で前期比減少した。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率(季節調整値;平成28年5月)は、1.28倍となった。

——平成25年5月以降37ヵ月連続で1.00倍以上を記録。

雇用保険被保険者数(民間企業中心の全数調査)は、前年を上回った(前年比平成28年5月+0.3%;平成24年3月以降51ヵ月連続で増加)。

雇用者所得(県内合計値;平成28年4月)は、常用雇用指数が前年を下回った(前年比 $\Delta$ 0.1%)ものの、名目賃金指数が前年を上回った(同+2.4%)ことから、

2 ヶ月振りに前年を上回った（同+2.3%）。

## 5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 28 年 5 月）は、前年を下回った（前年比  $\Delta 0.9\%$ ；平成 27 年 4 月以降 14 ヶ月連続で前年割れ）。

## 6. 企業倒産

企業倒産（平成 28 年 6 月）は、7 件、4.8 億円（前年同月は 5 件、3.7 億円）と低水準を維持している。

## 7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 28 年 5 月）はともに前年を下回った。また、貸出約定平均金利は、引き続き低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>